

1 単元名 体づくり運動 (多様な動きをつくる運動)
～ 「体を動かす楽しさや心地よさを味わう」～

2 単元の見目

- (1) 体づくり運動に進んで取り組むとともに、きまりを守り、仲良く運動をしようとしたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしたりしている。【関心・意欲・態度】
- (2) 運動のねらいに合った課題をもち、体づくりのための運動の行い方を工夫している。【思考・判断】
- (3) 多様な動きをつくる運動を楽しく行うための体の基本的な動きやそれらを組み合わせた動き、各種の運動の基礎となるよい動きを身につけている。【技能】

3 運動の特性と子ども

(1) 運動の特性

- ・多様な動きをつくる運動は、小学校の低・中学年の時期に「体の総合的な動きを身につける」ことを直接のねらいとして行われる運動である。【運動の魅力】
- ・器械運動やゲームなど、体づくり運動以外の各運動領域で扱いにくい様々な動きを培う必要性から生まれ、行われる運動である。【運動の機能】

(2) 子どもから見た動きの面白さ

あらかじめ意図的に用意された、様々な体の基本的な動きを培う運動ができるかどうか面白い。具体的には、バランスを保つ、速さ・リズム・方向などを変えての体の移動、いろいろな用具の操作、重いものをもったり力比べなどをしたりして、それらができるかどうか面白い運動である。

4 児童の実態

本学級の児童は、男子 28 名女子 10 名で構成されていて体を動かすことの好きな児童が多い。しかし、男女一緒に学習するとなると、恥ずかしがってうまく進まないことがある。4 月の後半から体づくり運動を少しずつ取り入れながら学習を進めてきた。また、全員が「運動することが好き」というわけではないので、子ども達がゲーム感覚で楽しめ、自分たちで進んで運動するように考える必要があると感じた。さらに、休み時間などを使って、子ども達が自主的に取り組むなど学校での流行や定着した運動(遊び)になるよう工夫してみたい。

アンケートの結果では、「体育の学習は好きですか。」という問いで、36 名(2 人欠席)の児童が好きと答えた。ただし、球技等、ボールを使つての運動を好む傾向が強くゲーム性のある運動を中心に昼休みの休み時間を利用して活発に活動する様子が見られる。縄跳び運動などの運動では、進んで行く様子は見られない。苦手な運動としては、マット運動が一番多く、次いで縄跳びなどが挙げられる。しかし、今回の多様な動きをつくる運動において、跳ぶという運動で、子ども達が進んで取り組むことができるようゲーム性のある方法を選びだしていきたい。子ども達は、体育が好きで、体を動かすことに慣れているため、跳ぶという動作でもゲーム感覚で楽しめるよう場の設定を行い、子ども達が休み時間でも進んで運動を行い、校内でも流行するような運動にしていきたい。

質問	アンケートの結果	
体育の学習は好きですか。	はい（36名）	いいえ（0人）
理由	ボールなどを使って体を動かすことが好き。	
体育のどんな学習が好きですか。(条件・複数回答可)	ドッチボール運動（30名）水泳学習（24名）バスケットボール運動（18名）表現運動（25名）かけっこ・リレー（15名）サッカー運動（15名）縄跳び運動（10名） など	
もっと運動が得意になりたいですか。	なりたい（34名）	なりたくない（2名）
昼休みの休み時間はどのように過ごしていますか。	体育館や運動場で（25名）	教室で（11名）
これから積極的に体力を高めていきたい。	はい（32名）	どちらともいえない（4名）
仲間と一緒に運動やスポーツをすることは楽しい。	はい（32名）	どちらともいえない（4名）
放課後は、どのように過ごしていますか。	スポーツ部に入っている（20名） 外で遊んでいる（8名）	塾や習い事にいっている（7名） ゲームで遊んでいる（1名）
休みの日は、どのように過ごしていますか。	スポーツ部に入っている（20名） 外で遊んでいる（5名）	家族とお出かけが多い（6名） 家でゲーム（5名）

5 研究主題との関わりについて

(1) 研究テーマ 「運動に親しみ、進んで運動に取り組む児童の育成」

～体づくり運動を通して～

今回のアンケートでは、スポーツ部等を通して体を動かす児童が7割近く(26名 68%)おり、休日でも進んで体を動かしている傾向にある児童が多くみられることが分かってきた。しかし、スポーツ部で運動をすることのできない児童においては、家族と出かける、家でゲームをするなどして体を動かす機会が減ることが分かる。

運動をする子としない子の二極化が言われる中、今回の学習では、運動の日常化につながるような簡単な運動や伝承遊びを通して、友達と一緒に汗を流す楽しさや心地よさを味わわせ、普段の生活の中から運動に親しむ資質や能力を培うことを重視し、みんなで関わりながら気軽にできる運動の種類と方法を広げ、運動に親しむことのできる児童の育成に努めていきたい。

6 指導にあたって

スポーツにおいては、少年野球、ミニバスケットボール、バレーボール、少年サッカークラブに所属したり、体を動かす習い事をしている子どもも多数いる。しかし、全国体力・運動能力調査の総合評価の結果、本校は全国・県と比較すると、A・B評価の児童は少なく、D・E評価の児童の割合が高いという結果だった。

中学年では、直接体力の向上を目指すのではなく、基本的な動きを身につけることに重点を置いた「多様な動きをつくる運動」を通して、さらに運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう全学年の系統性を意識した授業展開ができるよう心掛けながら指導していきたい。

(1) 場の工夫

多様な動きの5つの学習項目の中から「体を移動する運動」、「用具を操作する運動」「基本的な動きを組み合わせる運動」をそれぞれ運動できる場を設定する。初めに全体で準備運動を行って、グループに分かれて学び合いながら運動に参加できるよう用具を準備する。

(2) 技術面の指導の工夫

チェックポイント

<p>【ゴム段】用具・・・布ゴム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合う、高く跳ぶ。 <p>【二重跳び】用具・・・短なわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合う、手首を回す、高く跳ぶ、リズムカルに跳ぶ。 <p>【ダブルダッチ】用具・・・短なわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合う、腕を大きく回す、リズムカルに跳ぶ。

(3) 学び合いの工夫

- ・学級を8つのチームに分け、自分達の記録の伸びも楽しめるようにする。
- ・めあてを確認し、協力して学習ができるよう勧める。

7 単元の評価基準

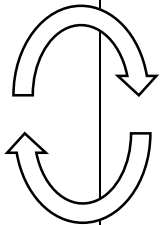
運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 ・用具の使い方や運動の行い方のきまりを守って運動をしようとしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片づけをしようとしている。 ・運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、友達と一緒に運動をしたり用具を使って運動をしたりするなど、運動の行い方を選んでいる。 ・多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、友達のよい動きを見つけ自分の運動に取り入れたり、動きの組み合わせを選んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作、力試しの動きとともに、それらを組み合わせた多様な動きに親しむことができる。

8 単元の評価計画

段階	時間	主なねらい・学習活動	評価基準			教師の指導・支援
			関	思	技	
や っ て み る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを観てイメージを共有する。 ・学習の見通しをもつ。 ・体ほぐしの運動でグループの信頼を深める。 ・用具を操作する運動に取り組む。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標と課題、グループでの目標を立てて動きのポイントを見つける。 ・学習のルールを確認し、協力し合えるように声掛けをする。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて色々な動きを工夫する。 ・体を移動する運動に取り組む。 ・用具を操作する運動に取り組む。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを確認する。 ・グループでめあてを確認した後、課題の解決に向けて学習する。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて色々な動きを工夫する。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と声をかけ合ったり、お互いに協

		<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する運動に取り組む。 ・用具を操作する運動に取り組む。 				力したりできるよう支援する。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する運動に取り組む。 ・用具を操作する運動に取り組む。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には声をかけ励まし、グループの友達同士でも励ますように声をかける。
ひろげる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する動きにチャレンジし、記録会を開こう（グループ） ・用具を操作する運動に取り組む。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には声をかけ励まし、グループの友達同士でも励ますように声をかける。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する運動に取り組む。 ・用具を操作する運動に取り組む。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には声をかけ励まし、グループの友達同士でも励ますように声をかける。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する運動に取り組む。 ・用具を操作する運動に取り組む。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には声をかけ励まし、グループの友達同士でも励ますように声をかける。
	8 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動する動きにチャレンジし、記録会を開こう（グループ） ・用具を操作する運動に取り組む。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には声をかけ励まし、グループの友達同士でも励ますように声をかける。

9 指導計画

	1	2	3	4	5	6	7	8
【分】 0	オリエン テーショ ン	ストレッチング						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">やってみる</div> <p>様々な運動にグループで取り組んでみる。 体を移動する運動 (リズムカルにはねる・走る)</p> <p>用具を操作する運動 (短なわ) (手首で回す・大きく回す)</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ひろげる</div> <p>体を移動する運動や用具を操作する運動にチャレンジする（グループ学習）。 基本の動きを組み合わせ、グループで学習に取り組む。 学習カードの活用。 体を移動する運動</p>		
4 5	感想の発表 振りかえり学習カードの記入							

10 うるま市具体的実践9項目との関わり

(1) ねらいを明示した授業の実施

- ・自分達の課題をグループで確認し、情報の共有ができるよう学習カードを活用する。

(2) 教材・教具・説明の工夫

- ・児童の動きが組み合わせられるよう身近な教具を使う。

(3) 言語環境の整備と言語活動の実施

- ・グループの友達を励ましたり、「心のマナー」を使って相手を応援したり励ましたりするよう声掛けをする。

(4) 習得したことを活用する場の設定

- ・体ほぐし運動で学習した動きを応用して、グループで課題に取り組むようにする。

11 本時の指導 (8/8)

(1) 本時のねらい

いろいろな用具を使って運動し、多様な動きに親しむことができる。

(2) 授業仮説

グループ学習の場において、用具を使い話し合っ運動することで、多様な動きに親しむことができるであろう。

(3) 準備する物

短なわ (個人)、グループ用短なわ (2本)、ゴムひも (3.5m)、学習シート

	主な学習展開	教師の働きかけ	評価
導入 7分	1 準備運動 (ストレッチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・けが防止のため、柔軟体操をする。 ・リラックスできるよう声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで取り組んでいるか。 【関心】
展開 28分	2 今日のめあて、ルールの確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物で確認できるよう黒板に張り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体のバランスや移動、用具の操作、それらを組み合わせ運動している。 【技能】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて: いろいろな運動をして心地よさを感じよう。</div> 3 主運動につなげられるよう用具を使って体を動かす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【ゴム段】 <ul style="list-style-type: none"> ・軽いジャンプの動作でリズムをとる。 【二重跳びの確認】 <ul style="list-style-type: none"> ・用具を使って跳び方を確認する。 ・跳び方の確認。 ・手首の確認。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに始められるように声をかける。 ・いろいろな動きを自分達で考えてできるように声をかける。 ・参考になる動きができていいるグループを紹介して、全体でポイントの共有を図る。 	
まとめ 10分	4 記録会を開く。		
	5 本時の学習を振り返る。		
	6 運動して気付いたことや思ったことを発表する。		

(4) 評価

グループ学習の場において、用具を使い話し合っ運動することで、多様な動きに親しむことができたか。

12 場の設定

